

せんがくず新聞

リコー
DesignCenter



編集・制作:梅澤朝樹
発行日:2007年10月29日
第26号
<http://umeasaki.com/sengakuzu/>

秋季IDリーグ 2部 5チーム中 4位!



人数が揃わない開会式の様子...

大敗したことにより、得失点差がかなり不利な状態となりIDリーグが開幕した。

一回に鈴正が到着するが、せんがくずの雰囲気は変わらなかった。

しかし、せんがくずは早朝に弱く、8人しか揃わない。急遽、ライトに飯田雅美が守り試合が始まる。

先発は梅澤。調子は悪くなかったものの、試合前のバタバタした雰囲気により守備のリズムが作れず、次第に崩れてゆく。合宿での好投は影をひそめ、大乱調。終盤は矢野に交代したが守備のリズムは最後まで悪く、大敗した。

メンバー揃わず、大敗!

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(DH)堀口	2	0	0	0	0
(四)吉越	2	0	0	0	0
(六)小幡	2	0	0	0	0
(一)梅澤	2	0	0	0	0
(五)矢野	2	0	1	0	0
(二)宗像	2	0	0	0	0
(七)島山	2	0	0	0	0
(三)奥田	1	0	0	0	0
(九)佐々木	1	1	0	0	0
(八)鈴正	1	0	0	0	0
	三振	安打	四死球	自責点	
(投)梅澤	0	5	2	4	
(投)矢野	0	4	5	4	

リコー	日立
0	3
0	0
0	5
0	5
0	13



同点タイムリーツーベースを放つ宗像

しかし、最終回、日産の先頭打者がヒットで出塁し、次の打者を凡打に打ち取るも続く打者に三塁打を打たれる。守備も乱れ無駄な点を与え敗退。善戦だったものの二敗目となった。

二試合は一試合目とは打って変わり、せんがくずベンチは大盛り上がりを見せる。先発の小幡は初回に失点をするものの、その後はノリにのって9奪三振。流れはせんがくずだった。

4対0とした四回。先頭の堀口が二塁打で出塁。つづく鈴正が倒れるも梅澤がタイムリーを放つ。これで勢いづいた打線はクリーンナップをむかえ、矢野が出塁、小幡がセンター越えの三塁打を放つ。さらに宗像がレフト越えの二塁打。せんがくずは中盤に同点においついた。

バッテリー好調! 上位打線爆発で一挙4点!

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(四)堀口	3	1	0	0	0
(八)鈴正	3	0	0	0	0
(二)梅澤	3	1	1	1	1
(五)矢野	2	0	1	0	0
(一)小幡	2	1	1	0	0
(三)宗像	2	1	1	1	1
(七)島山	2	0	0	0	0
(九)奥田	2	1	0	1	0
(六)比留間	1	0	0	0	0
(DH)佐々木	2	0	0	0	0
(DH)小野田	2	0	0	0	0
	三振	安打	四死球	自責点	
(投)小幡	9	12	2	6	

リコー	日産
0	4
0	0
0	0
4	0
0	0
0	3
4	7



ランニングホームランで激走する島山

二敗となり最下位だと思われたがなんと、NECも13対0で大敗していた。二試合目に日立がNECに7点差で勝ってくれたため、せんがくずは最下位にならずに三試合目をおこなうことができた。日立との結果は合宿の賜物である。

日産との再決戦となった初回、相手投手の乱調を逃さず、矢野、小幡が二塁打を放つ。そして庄巻は六番島山のホームラン。激走する間にベンチは大盛り上がりを見せる。勢いづいたせんがくずは六得点を挙げる。そのまま逃げ切り、なんとか一勝をあげ、良い形で大会を終えることができた。

次は西武ドームでキャノンと対戦である。

再決戦を制す!

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(DH)堀口	2	1	0	0	0
(三)比留間	2	0	0	0	0
(六)梅澤	1	0	0	0	0
(一)矢野	2	1	2	0	0
(五)小幡	2	1	1	0	0
(二)宗像	2	1	0	0	0
(八)島山	2	1	2	0	1
(七)佐々木	2	0	0	0	0
(九)小野田	2	0	0	0	0
	三振	安打	四死球	自責点	
(投)矢野	3	3	3	3	

リコー	日産
6	1
0	3
0	0
0	1
0	1
6	5